

あなたの声でもっと暮らしやすい都筑区に

# 区民意見募集

意見募集期間:2025年10月1日(水)~10月31日(金)

## 第5期 都筑区地域福祉保健計画 素案

計画期間:2026年度(令和8年度)~2030年度(令和12年度)

素案の中でこの部分が気になった(関心を持った、表現が分かりにくい)

地域の中で  
ご自身ができそうなこと、  
やってみたいこと

地域の中で  
「こんな取組があったらいいな」  
というアイデア

皆さまのご意見をお寄せください



横浜市地域福祉保健計画キャラクター  
都筑区バージョン「つづちゃん」

つづき  
あい  
(素案)



都筑区マスコットキャラクター  
「つづき あい」

横浜市都筑区役所  
社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会  
都筑区内地域ケアプラザ(加賀原、葛が谷、新栄、都田、中川、東山田)

概要版、やさしい概要版、英語版(English ver.)でも素案をご案内しています



第5期都筑区地域福祉保健計画策定にあたって



都筑区長コメント  
調整中



都筑区社会福祉協議会会長コメント  
調整中

# 目次

<b>第1章 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」について</b>	<b>1</b>
1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」とは	1
2 計画の対象者	1
3 「つづき あい」策定の趣旨	1
4 計画の構成	2
5 計画期間	2
<b>第2章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」の基本的な考え方</b>	<b>4</b>
1 都筑区の特徴	4
2 第4期計画の振り返り	5
<b>第3章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」区計画</b>	<b>7</b>
1 計画の全体像	7
2 第5期計画の考え方	9
3 目指す姿・推進に向けた具体的な取組	11
<b>第4章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」地区別計画</b>	<b>17</b>
1 地区別計画とは	17
2 地区別計画策定の経過	17
<b>第5章 計画の推進と振り返り</b>	<b>19</b>
1 区計画の推進と振り返り	19
2 地区別計画の推進と振り返り	23
<b>第6章 計画策定の経過と背景</b>	<b>24</b>
1 統計データ	24
2 関係者・関係団体へのヒアリング	28
3 都筑区地域福祉保健計画推進委員会	29
4 都筑区内15地区での話し合い（地域懇談会等）で出た意見	29
5 区民意見募集	29
<b>参考</b>	<b>30</b>
地域福祉保健計画の位置づけ	30
都筑区地域福祉計画推進委員名簿（2024年度・2025年度）	31

# 第1章 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」について

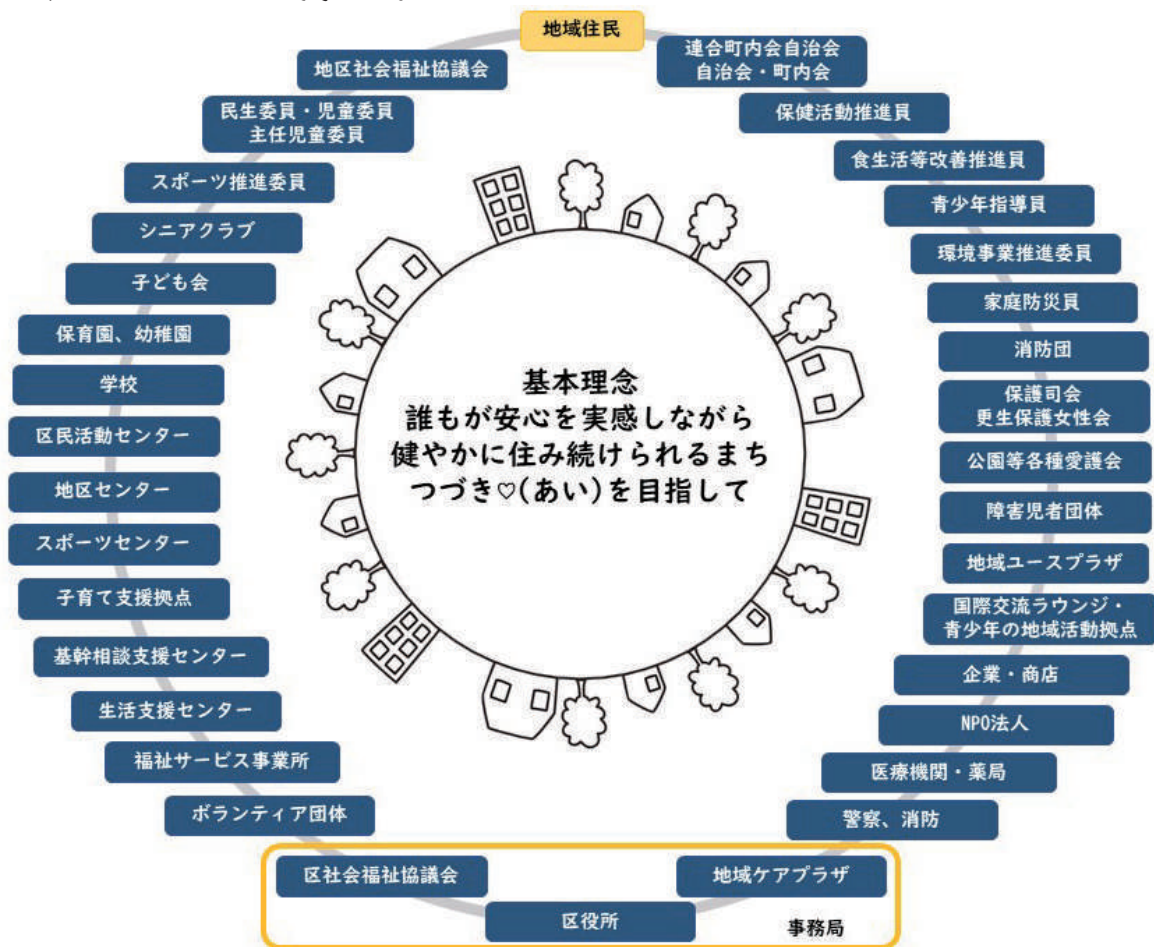
## 1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」とは

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域を目指し、地域の皆さま、事業者、公的機関（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が、地域の課題解決に向けて協働して策定・推進する計画です。

都筑区では、地域の皆さまに親しまれるよう、計画の愛称を「つづき あい」としています。

## 2 計画の対象者

都筑区で生活するすべての人が対象です。



## 3 「つづき あい」策定の趣旨

計画の策定・推進を通じて、地域の皆さまと、事業者、公的機関（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が都筑区の現状と課題を明らかにするとともに、より良いまちづくりに向けた目標を共有します。そうすることで、地域に関わる関係者や団体が同じ方向を向き、地域の課題解決に取り組むことができます。

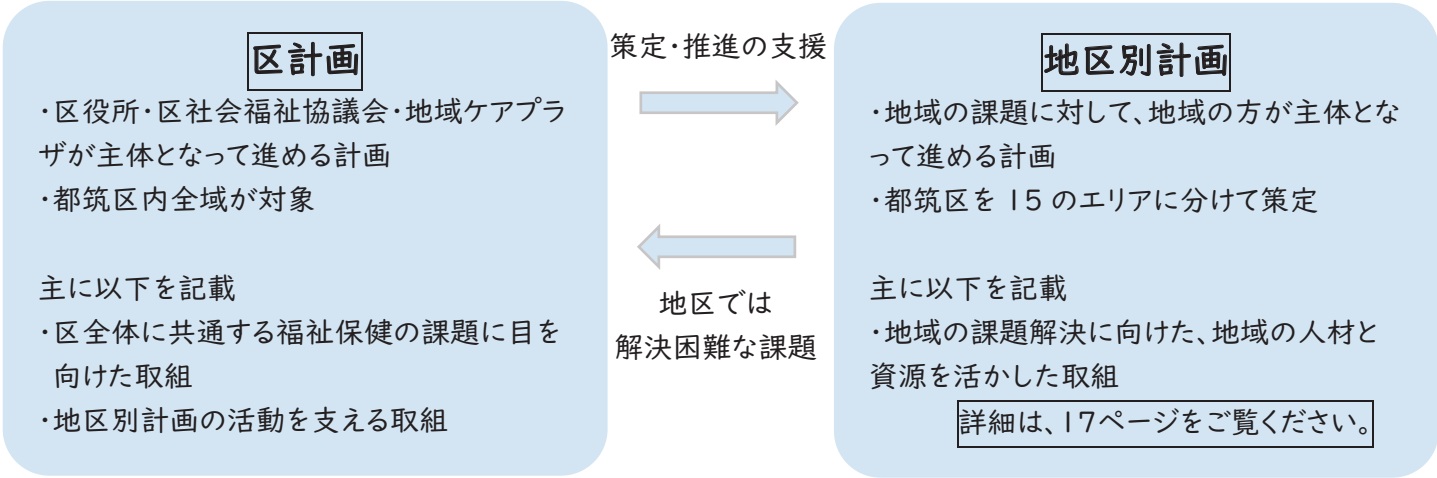
- ・地域福祉保健の現状や課題を明らかにする「〇〇で困っている人が増えているんだね」
- ・より良い地域づくりに向けた目標や取組を共有する「みんなで同じ方向に向かっていこう」
- ・強化したい課題や不足している取組を検討・実施する「どうしたらこの課題を解決できるかな」



立場や団体によって見えている状況は違うけど、  
「地域をより良く」という想いは共通だね。

## 4 計画の構成

都筑区地域福祉保健計画は、「区計画」及び「地区別計画」で構成されています。





### ◆都筑区社会福祉協議会（以下、区社協）

社会福祉法で「地域福祉の推進を図る」ことを目的に組織された、地域の住民や団体・施設が会員として加入している民間の福祉団体です。区社協の目的は、福祉のまちづくりを目指して地域福祉活動を進めることであるため、「自主性」と「公共性」という性格を持っています。区社協は、地域の福祉課題をみんなの課題とし、地域の人みんなで話し合い、計画的に解決に向かうよう取り組んでいます。



都筑区社会福祉協議会  
キャラクター「ゆいピー」

### ◆地域ケアプラザ

地域ケアプラザは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点として取組を行っている横浜市独自の施設です。

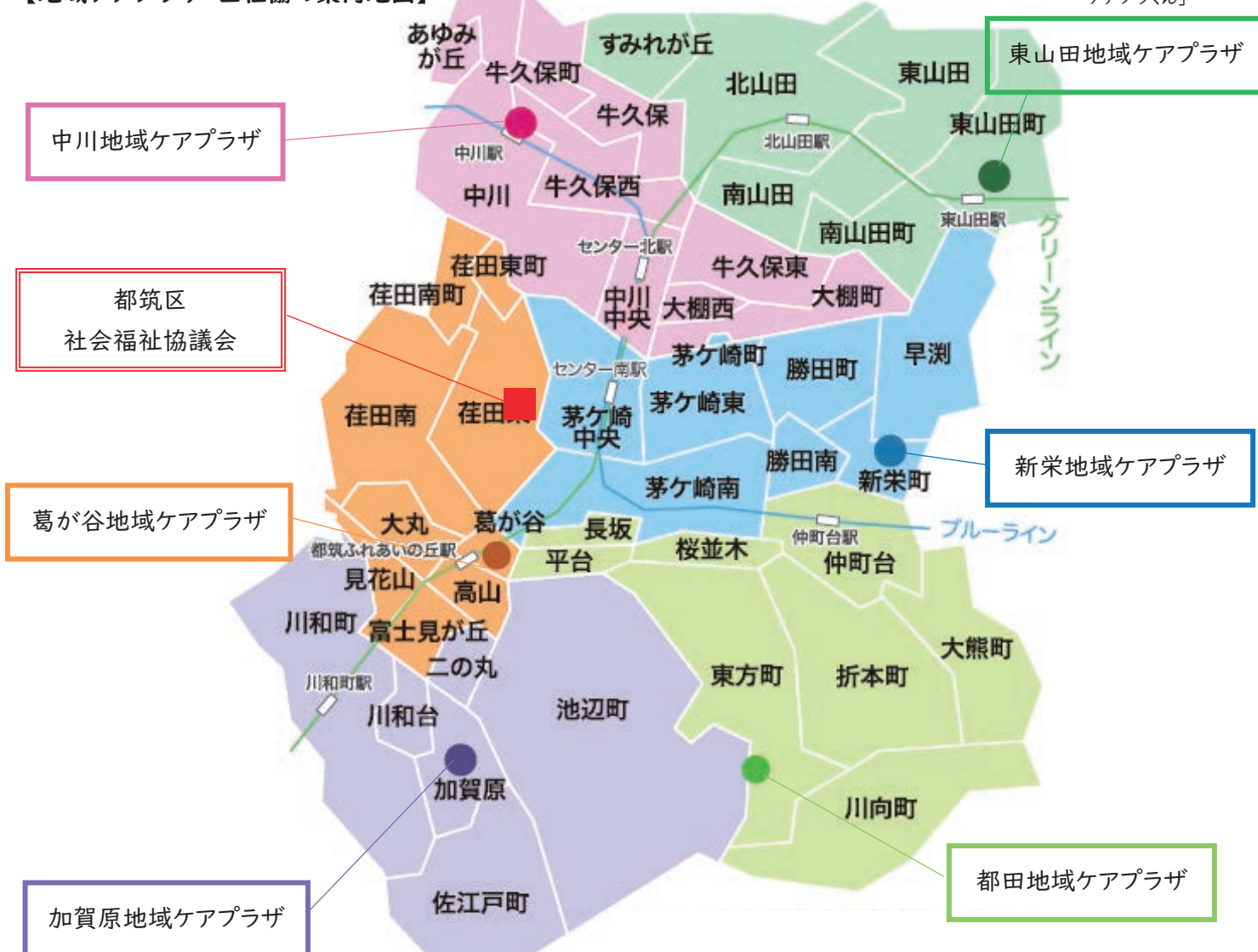
生活の困りごとや介護保険等に関する相談・支援のほか、健康講座や子育てサロンの開催、地域のつながりづくりや福祉・保健活動の支援、交流の場の提供等を行っています。高齢者デイサービスを実施している地域ケアプラザもあります。

「困りごとを相談したい」「地域とつながりたい」「ボランティアをしたい」「場所を借りたい」など、地域での暮らしに関するさまざまなニーズに寄り添います。



横浜市地域ケアプラザキャラクター  
「ケアプラくん」

### 【地域ケアプラザ・区社協の案内地図】



## 第2章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」の基本的な考え方

### Ⅰ 都筑区の特徴

都筑区は、かつて住む人の多くは農業を営んでいましたが、鶴見川沿岸への工場の進出によって、働く人々が大勢通うようになりました。また、港北ニュータウンの開発により、自然を活かした緑の環境や、計画的に整備された道路、身近な公共施設等の整備が進みました。現在は、大型商業施設での買い物のために区外から足を運ぶ人も増え、「住む」「働く」「訪れる」「交流する」など、多様な魅力があります。

区が誕生した平成6年(1994年)から約30年間で人口は約2倍に増えました。現在(令和7年1月1日時点)は、平均年齢が市内で3番目に若い区ですが、今後は急激に高齢化が進むことが推測され、全世代の健康づくりや地域・社会参加を通じたつながりづくりがますます重要となっています。

<p>①人口</p> <p>現在の人口は約21万4千人 18区中7位 (2025年1月末時点) 今後人口は減少する見込み。</p> 	<p>②世帯</p> <p>1世帯あたりの人数が多い。 18区中1位 (2025年1月1日時点) 今後、夫婦のみ世帯が増える見込み。</p> 	<p>③人の動き</p> <p>0~14歳、30歳以上の転入者割合が市平均と比べて多い。 (2024年中)</p> 
<p>④健康</p> <p>平均寿命、 平均自立期間(※)が長い。</p>  <p>※日常生活に介護を要しない期間の平均</p>	<p>⑤高齢化</p> <p>現在は、高齢化率が 18区中18位 (2025年3月末時点) 2035年以降、高齢化率が 横浜市平均を超える予想。</p> 	<p>⑥経済活動</p> <p>農業、工業、商業が盛ん。 農家戸数……18区中1位 (2020年2月1日時点) 製造業事業所数…18区中2位 商店数……18区中4位 (2021年6月1日時点)</p> 
<p>⑦環境</p> <p>自然豊かな緑道や 公園が整備されている。</p> 	<p>⑧交通</p> <p>横浜市営地下鉄ブルーラインと グリーンラインの2路線が走っている。 また、第三京浜道路や神奈川7号横 浜北線・横浜北西線があり、 交通利便性が高い。</p> 	<p>⑨多文化共生</p> <p>84カ国の方が生活している。 (2025年4月末時点)</p> 



## 2 第4期計画の振り返り

### (1) 主な取組と成果

第4期計画では人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念とし、3つの推進の柱をもとに取組を進めました。計画期間の前半は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域の取組を縮小・休止せざるをえなくなりましたが、開催方法を工夫することで、新たな地域活動の形が生まれました。また、地域でのつながりの大切さも改めて認識されています。

#### 推進の柱1 であいが広まり、つながりのある地域づくり

- ・多世代交流事業や自治会町内会の取組の工夫等を行うことで、あらゆる世代の人が気軽に地域と関わるきっかけが広がっています。
- ・お互いを知るための講座や福祉教育、交流できる場を通じて、お互いを認め合い、多様性が尊重される地域づくりが進んでいます。



自治会町内会加入促進イベント



小・中学校での福祉教育

#### 推進の柱2 お互いにささえあい、必要な人に支援が届く仕組みづくり

- ・暮らしの中でつながる機会を逃さずに情報を提供し、支援につなげる仕組みが出来ています。
- ・会場や時間帯を見直すことで、相談しやすい体制が広がっています。また、手を差し伸べる人も孤立しないよう、ネットワークづくりが進められています。



水道検針員への生活困窮関連制度の説明



地域ケアプラザで実施している赤ちゃん会

#### 推進の柱3 地域における様々な主体が連携しながら、地域がもつ力をわかちあえる地域づくり

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた社会福祉法人との連携が徐々に再開しています。
- ・青少年のボランティアや身近な生活の困りごとに対するボランティアの輪が広がっています。
- ・住民からの声をきっかけに、民間企業と連携した取組が広がっています。



ボランティア情報を見ている様子



移動販売



## (2) 第5期計画に引き継がれる課題(第5期計画のポイント)

### ◆多くの人が身近な地域活動に関心を持ち、気軽に参加できる環境づくり

- ・きっかけがないと地域活動に参加しにくいとの声があるため、活動に関心がある人と活動団体をつなぐコーディネート力を強化します。
- ・地域活動者が少なく、負担が大きい現状があります。多様な人・団体の参入やデジタル化によって、活動が十分に継続できるような工夫を行います。



### ◆誰も取り残さない地域づくり

- ・自分で困りごとを表出することが難しい人に対し、周囲が気づき、支援機関等につなぐことができるよう、福祉保健の情報発信や見守りの目を増やしていきます。
- ・孤立予防、生きがいづくりのために、日常生活の中にある居場所の継続・創出に取り組めます。



### ◆多様性の尊重

- ・誰もが尊重され、自分らしく生活できる環境づくりを進めます。
- ・立場や背景で区切らず、お互いを知る機会や、様々な人が交流できる場を継続し、ささえあいの気持ちを育んでいきます。



### ◆多様な主体との協働

- ・大規模商業施設や学校、NPO法人、地元企業等が数多くある都筑区の強みを活かして、福祉保健活動のすそ野を広げます。



Ⅰ 計画の全体像

基  
誰もが安心を実感しながら 健やかに

であい

目指す姿Ⅰ

であいが広がり、  
つながる機会が  
たくさんある

ささえ  
あい

- ①多くの人が気軽に参加できるきっかけづくりを進めます。
- ②地域で活動する団体や住民同士の交流の場をつくりまします。
- ③地域の身近なささえあい活動を進めている団体を支援します。
- ④多くの人や団体と地域がつながりをもてるよう、コーディネートに力を入れます。
- ⑤地域活動を応援する法人・商店・企業等との連携を進めます。
- ⑥多くの人に情報が伝わるよう、工夫して発信します。

- ①日頃からのささえあい
- ②身近な地域におおまかです。
- ③適切な相談先を相互に役割や機能
- ④地域ケアプラザを引き続き周知
- ⑤身近な地域での組みます。
- ⑥福祉保健に関する気づきを大切に地域とともに
- ⑦分野やテーマご各種機関同士のみます。

区役所・  
区社協・  
地域ケアプラザ  
の取組

# 本理念

## 住み続けられるまち つづき<sup>あい</sup>♡を目指して

### 目指す姿2

ささえあい、  
健やかに生活できる

わかち  
あい

### 目指す姿3

多様性が尊重され、  
その人らしく  
生活できる

えあいの大切さを広めます。  
ける居場所づくりを推進し

案内するために、各団体が  
能を十分に把握します。

等、身近な地域での相談先  
します。

健康づくり・介護予防に取り

る情報を地域と共有し、住民  
にしながら、様々な困りごと  
解決していきます。

とのネットワークを通じて、  
連携や、課題解決に取り組

- ①様々な人が立場や背景を超えて交流する場をつくります。
- ②「人はみんな違って当たり前」を理解するための講座や研修を開催します。
- ③自らの意思が反映された生活を送ることができるよう支援します。
- ④誰もがやりたいことを実現でき、自分らしく活躍できる環境を整えます。



## 2 第5期計画の考え方

### (1) 基本理念

#### 基本理念

誰もが安心を実感しながら 健やかに住み続けられるまち つづき<sup>あい</sup>♡を目指して

「基本理念」は、計画の推進を通じて目指す、都筑区の共通の目標像です。

都筑区では、第1期から第4期まで、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念にしてきました。第1期策定から20年が経とうとしている今、目標像に向かってさまざまな取組や地域活動が進む中で、「であい ささえあい わかちあい」が広がった先にある都筑区の姿を、より具体的に、地域のみなさんと共有する必要があると考えました。

都筑区が、「住んでいるみなさんにとって」「社会的にも心理的にも安心を感じながら」「健やかに暮らせるまち」でありたいという思いを込めて、第5期計画の基本理念を設定しました。

### (2) 目指す姿

基本理念の達成に向けた地域の具体的な像として「目指す姿」を整理しています。第1期から第4期までの、人と人との「であい ささえあい わかちあい」の考え方を引継ぎながら、第5期計画では、目指す姿を3つ設定しています。

#### 目指す姿1

であい

であいが広がり、つながる機会がたくさんある

#### 目指す姿2

ささえあい

ささえあい、健やかに生活できる

#### 目指す姿3

わかちあい

多様性が尊重され、その人らしく生活できる

### (3) 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組

目指す姿に近づくための取組を「区役所・区社協・地域ケアプラザの取組」として記載しています。人と人がつながるきっかけである「であい」をつくり、そのうえに「ささえあい わかちあい」ができるような人のつながりを広げていくという考え方を継承し、取組を進めていきます。

「つづき あい」の「安心」には色々な意味が込められているよ。

- ◆社会的な「安心」：信頼できる人や地域・環境に囲まれていることで得られる安定感
- ◆心理的な「安心」：心配事がなく、気持ちが落ち着いている状態

人によって「安心」の感じ方は違うからこそ、住民一人ひとりの暮らしや生活課題に着目した取組が必要になってくるんだね。





紙面調整中

### 3 目指す姿・推進に向けた具体的な取組



#### 目指す姿Ⅰ「であい」

#### であいが広がり、つながる機会がたくさんある

##### ◆背景や課題

- 地域で活動する人の固定化や減少により、負担が増加し、活動の継続が難しくなっている場合があります。
- また、価値観やつながりの多様化で、身近な地域での人と人とのつながりが希薄化しているとの声も聞かれます。
- しかし、困りごとがあっても、自分や家族だけでは解決できない時があります。  
災害等の緊急時はもとより、日常生活の中でも、共助によるささえあいが重要です。

##### ◆取組の方向性

- 地域におけるささえあいの活動が今後も継続できるよう、地域で活動する関係組織・団体の支援に取り組みます。
- ささえあいを進める第一歩として、多くの人が身近な地域について興味や関心を持ち、地域活動へ気軽に参加できる環境づくりを進めます。
- 地域活動を行うにあたって、価値観や困りごとの変化を捉え、多様な視点を持って推進します。

#### <区役所・区社協・地域ケアプラザの取組>

- ① 多くの人が気軽に参加できるきっかけづくりを進めます。
- ② 地域で活動する団体や住民同士の交流の場をつくります。
- ③ 地域の身近なささえあい活動を進めている団体を支援します。
- ④ 多くの人や団体と地域がつながりをもてるよう、コーディネートに力を入れます。
- ⑤ 地域活動を応援する法人・商店・企業等との連携を進めます。
- ⑥ 多くの人に情報が伝わるよう、工夫して発信します。

#### 取組例

- ・ ボランティア講座の開催
- ・ 区民活動センターでの講座の開催
- ・ 地区社会福祉協議会への支援
- ・ ボランティアセンターの運営
- ・ 誰でも参加可能なイベントの開催
- ・ フードドライブ(※)の実施
- ・ やさしい日本語や多言語での表記
- ・ 地域ケアプラザ広報誌での情報発信
- ・ 地域のささえあい連絡会や地域懇談会の開催支援
- ・ 自治会加入促進への取組の実施
- ・ 各種補助金・助成金の推進
- ・ 商業施設との連携
- ・ 移動販売への協力

※フードドライブ…各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、地域の福祉施設・団体や食にお困りの方などに寄贈する活動

コラム1 調整中

コラム2 調整中

コラム3 調整中



## 目指す姿2 「ささえあい」

### ささえあい、健やかに生活できる

#### ◆背景や課題

- 本人自身や家族に困り感がなく、相談できることに気が付かない結果、適切な相談につながらず、様々な課題が深刻化・複雑化することがあります。
- 周囲の人が困りごとに気が付いても、1人では行動できず、抱えてしまう場合もあります。
- 1人でも健康づくり・介護予防の取組は実施できますが、つながりをつくることで、より心身の健康に効果があります。実際に、身近な活動を通じて、顔の見える関係が作られ、安心や生きがいにつながっています。

#### ◆取組の方向性

- 困りごとを抱えている人自らが、相談しやすい環境づくりに取り組みます。
- 事態の深刻化を防ぐために、誰かが変化に気づき、周りの人や機関に早期につながるような、見守り・ささえあい活動を推進します。
- 助けが必要な人も手を差し伸べる人も孤立しないような体制づくりを進めます。
- 引き続き、身近な地域でのつながりを大切にした健康づくり・介護予防を推進します。

#### <区役所・区社協・地域ケアプラザの取組>

- ① 日頃からのささえあいの大切さを広めます。
- ② 身近な地域における居場所づくりを推進します。
- ③ 適切な相談先を案内するために、各団体が相互に役割や機能を十分に把握します。
- ④ 地域ケアプラザ等、身近な地域での相談先を引き続き周知します。
- ⑤ 身近な地域での健康づくり・介護予防に取り組みます。
- ⑥ 福祉保健に関する情報を地域と共有し、住民の気づきを大切にしながら、様々な困りごとを地域とともに解決していきます。
- ⑦ 分野やテーマごとのネットワークを通じて、各種機関同士の連携や、課題解決に取り組みます。

#### 取組例

- ・ 災害時要援護者支援事業の実施
- ・ 地区社会福祉協議会への支援
- ・ 地域での見守り活動の支援
- ・ こども食堂の開設・運営支援
- ・ 学習支援
- ・ 地域ケアプラザによる地域への出張相談
- ・ 各種相談先・相談窓口の啓発
- ・ 保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援
- ・ 介護予防事業の実施
- ・ 元気づくりステーションの運営支援
- ・ 子どもの支援団体連絡会の開催
- ・ 自立支援協議会(※)への参画

※自立支援協議会…障害のある方が地域で安心して生活するために、  
「人と人をつなぎ、地域の課題を地域の中で共有し、解決に向け協働する場」



コラム1 調整中

コラム2 調整中

コラム3 調整中

## 目指す姿3 「わかちあい」

### 多様性が尊重され、その人らしく生活できる

#### ◆背景や課題

○誰もが自分らしく暮らしていくためには、それぞれが優先していること・大切に思っていること等をお互いに認め合い、尊重し合える意識を高めていくことが大切です。

○様々な立場や背景のある人に対する偏見や差別があることで、本人が生きづらさを感じたり、当たり前で暮らすことが難しくなっていたりする人がいます。

#### ◆取組の方向性

○様々な立場や背景、価値観等、単に見た目の違いだけでなく、「みんな異なる」ことをお互いが認め、自分らしく生活できたり、活躍できる機会をつくれます。

○地域全体で多様性の理解を広め、支援が必要な時に、声を上げやすい環境づくりを進めます。

#### <区役所・区社協・ケアプラザの取組>

- ① 様々な人が立場や背景を超えて交流する場をつくれます。
- ② 「人はみんな違って当たり前」を理解するための講座や研修を開催します。
- ③ 自らの意思が反映された生活を送ることができるよう支援します。
- ④ 誰もがやりたいことを実現でき、自分らしく活躍できる環境を整えます。

#### 取組例

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ・ 認知症カフェの運営・継続支援 | ・ 防災訓練への多様な人の参加促進 |
| ・ 農福連携(※)の推進     | ・ 障害理解講座の実施       |
| ・ 障害施設自主製品の販路拡大  | ・ 認知症サポーター養成講座の実施 |
| ・ 多世代交流事業の実施     | ・ 福祉教育の推進         |
| ・ 権利擁護事業の実施      | ・ エンディングノートの普及啓発  |

※農福連携…障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組

紙面調整中

コラム1 調整中

コラム2 調整中

コラム3 調整中

## 第4章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」地区別計画

### 1 地区別計画とは

「地区別計画」はそれぞれの地域の特性に合わせ、地域が主体となって地域の課題解決に向けた取組を進めるための計画です。

自分たちのまちを「こんなまちにしたい」という、思いが込められた計画で、都筑区内15の地区連合町内会自治会及び地区社会福祉協議会エリアを単位として策定しています。

「地区別計画」では、それぞれの地区の概況や、各地区が考える目標と具体的な取組等についてまとめています。

### 2 地区別計画策定の経過

地区別計画の策定にあたっては、各地区での取組や地域課題について振り返り、第5期計画期間中に目指したい目標や具体的な取組について、話し合いを進めました。

各地区で開催されている推進委員会や地域懇談会には、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員等地域で活動する団体から様々な立場の人が参加しています。

また、地域懇談会で把握した各地区に共通する課題については、区計画へも反映させていきます。

#### 地域懇談会等での意見交換

##### 第4期地区別計画の推進・振り返り

- 地域の現状や課題の共有
- 第4期計画の振り返りに関する意見交換

##### 第5期地区別計画の検討・策定

- 各地区での第5期計画における課題と課題解決に向けた目標及び取組項目を検討

##### 各地区で出た意見（抜粋）

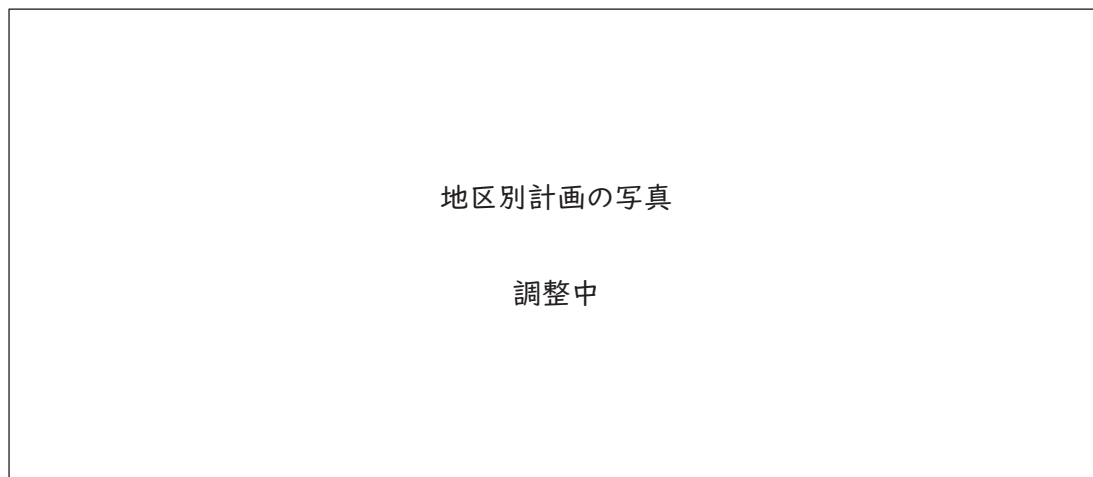
- ・昔から住んでいる住民と転入してきた住民とのつながりを強化したい。
- ・子ども（小学生、中学生）の意見を聴きたい。
- ・地域活動へ若者にもっと参加してほしい。
- ・地域活動者や地域懇談会の参加者が固定化している。
- ・意見は色々出るが、具体的な活動の実現につながらない。



地域懇談会の様子



【地区別計画冊子】



地区別計画の写真

調整中

ホームページ  
二次元コード  
調整中

【都筑区連合町内会自治会及び都筑区地区社会福祉協議会エリア図】



## 第5章 計画の推進と振り返り

### Ⅰ 区計画の推進と振り返り

#### (1) 推進

第5期計画で掲げた基本理念・目指す姿の実現に向けて、区役所の各部署、区社協、区内地域ケアプラザは、各取組をより具体化し推進します。

例 取組Ⅰ-①多くの人が気軽に参加できるきっかけづくりを進めます。

区役所各部署の取組

区社協の取組

地域ケアプラザの取組

#### (2) 進捗状況の確認・振り返り

次の方法によって、年度ごとに推進の進捗状況の確認をし、振り返りを行います。

##### ①振り返りの手順

◆区役所各課・区社協・区内地域ケアプラザによる振り返り

(説明)

区役所・区社協・区内地域ケアプラザは、事業の進捗状況や地域主体による取組を「振り返りの道しるべ(P.21)」を参考にしながら振り返り、取組の成果等を確認します。

集約

◆事務局による総合振り返り

(説明)

各機関での振り返りを集約し、事務局(※)で目指す姿ごとの総合的な振り返りを行います。※区役所福祉保健課・区社会福祉協議会

報告

◆都筑区地域福祉保健計画  
推進委員会

(説明)

・福祉、保健、医療その他各種団体の代表者や学識経験者の委員から構成される会議です。  
・区計画や地区別計画における取組の全体を見渡し、幅広い視点で振り返ります。また、計画全体の推進・進捗確認の場として位置づけ、計画で取り組むべき内容や方針について意見交換を行います。

##### ②振り返りの時期

毎年度実施します。

### ③振り返りの考え方

次の2つの視点で振り返りを行い、次年度の推進や次期計画策定に活かします。

#### ○目指す姿に近づくための取組の内容や量（取組・アウトプット）

「どのように取組を進めたか」「どの程度取組を進めたか」

例 取組○-○に沿って、ケアプラザでは○○に取り組んだ。

#### ○取組による地域の変化（成果・アウトカム）

「目指す姿にどのくらい近づいたか」

例 取組○-○に沿って、○○の取り組みをした結果、地域に▲▲の変化があった。

道しるべの「アウトカム」を参照しながら、  
地域の変化を考えます。

### ④「振り返りの道しるべ」(P.21)

第5期計画では、取組が目標や目指す姿に至るまでの流れを、フローチャートの形でまとめています。

このフローチャートを振り返りの際に活用することで、計画した取組と目指す姿の関係が適切か、必要な取組が網羅されているかについて、関係者で検討・共有しやすくなります。

フローチャートは次のページ(P.21)に示しています。

どうして「振り返りの道しるべ」を作ったの？

この事業、参加者が  
昨年より少ないな。

そもそもこの事業は何  
の目的でやっている  
んだっけ。

そんな時は、「道しるべ(P.21)」を見て  
みよう。

色んな人がこの事業に  
関わっているし、何のため  
にやっているか立ち返ろ  
う。

これを目指してや  
っていたんだって

やることに必死にな  
って、目指す姿を見  
失っていた。

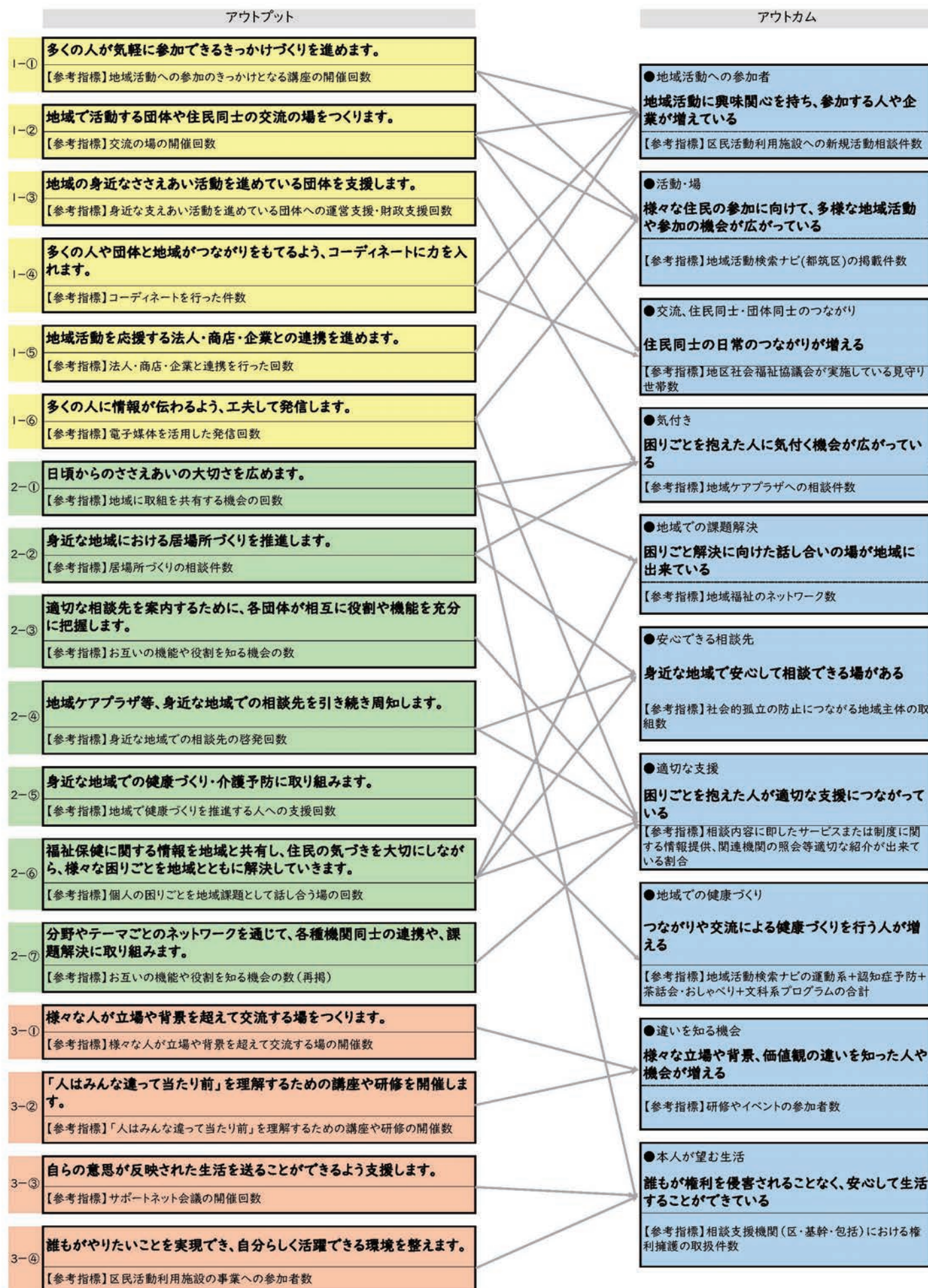
この目的を達成するた  
めには他のやり方でも  
いいかも！

道しるべがあると、振り返る時に「取り組んだ  
こと」だけではなく、「取り組んだ結果どのよう  
な影響があったか」に目を向けやすいね。



## 区役所・区社協・地域ケアプラザの「振り返りの道しるべ」フローチャート

目指す姿（最終アウトカム）と各取組（アウトプット）の主な因果関係を矢印で示しています。



記載している参考指標は、計画の推進状況を振り返るうえで、客観的な評価ができるよう一例として設定しています。

中間アウトカム	最終アウトカム
<ul style="list-style-type: none"><li>◆住民の支えあいが充実する</li><li>◆困りごとを抱える人が安心して自分らしく暮らせる</li><li>◆多様な主体の連携・協働による地域課題の解決に向けた活動が充実する</li><li>◆住民・関係機関・団体が連携して、複雑・多様化した課題を抱えた人に継続的に寄り添い、関わっている</li><li>◆住民が多様性を理解し、尊重しあえる</li><li>◆住民のつながりを通じて健康が増進される</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆であいが広がり、つながる機会がたくさんある</li><li>◆ささえあい、健やかに生活できる</li><li>◆多様性が尊重され、その人らしく生活できる</li></ul>



## 2 地区別計画の推進と振り返り

### (1) 地区別計画の推進・進捗状況の確認の場

地区別計画には、様々な人や団体が取り組むことが記載されており、進捗状況を確認しながら、取り組んでいく上での課題等を共有する場が大切です。そのため、既存の会議・体制を活用しながら、継続して地区別計画の推進・進捗確認を行います。

地区別計画の推進にあたっては、区役所、区社協、地域ケアプラザが連携して、地域の様々な活動を支え、応援していきます。

### (2) 振り返り

#### ◆振り返りの時期

15 地区共通の振り返りは、中間期（計画期間3年目）に実施します。

その他、各地区の状況に応じて、必要時振り返りを行います。

#### ◆振り返りの考え方

- ・地区別計画に掲載している取組が「どの程度実施できたか」を確認し、「継続して取り組むもの」「見直しを検討するもの」「新しく取り組むもの」を振り返ることで、次の取組につなげます。
- ・振り返りの際は、取組の回数だけではなく継続して実施できていることや、参加者の多様性が進んでいること等についても多角的に振り返ります。

## 第6章 計画策定の経過と背景

各種統計データ／  
都筑区区民意識調査

関係者・関係団体  
へのヒアリング

都筑区地域福祉  
保健計画  
推進委員会

各地区での  
話し合いで  
出た意見

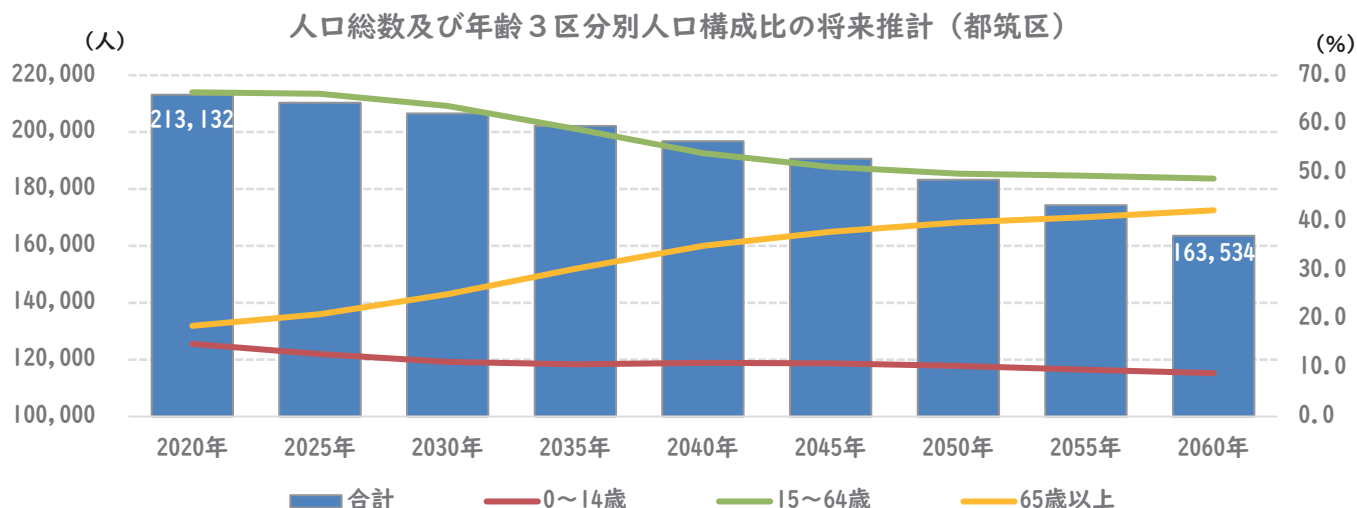
【今回】  
区民意見募集

2023年度「都筑区区民意識調査」や各種福祉保健関連の「統計」、地域福祉保健活動に携わっている関係者や関係団体への「ヒアリング」、各団体の代表者や学識経験者から構成された「都筑区地域福祉保健計画推進委員会」、各地域で開催されている「地域懇談会等の意見」をもとに素案の策定を進めました。今回の区民意見募集でいただいた意見と合わせて、第5期計画を策定します。

### Ⅰ 統計データ

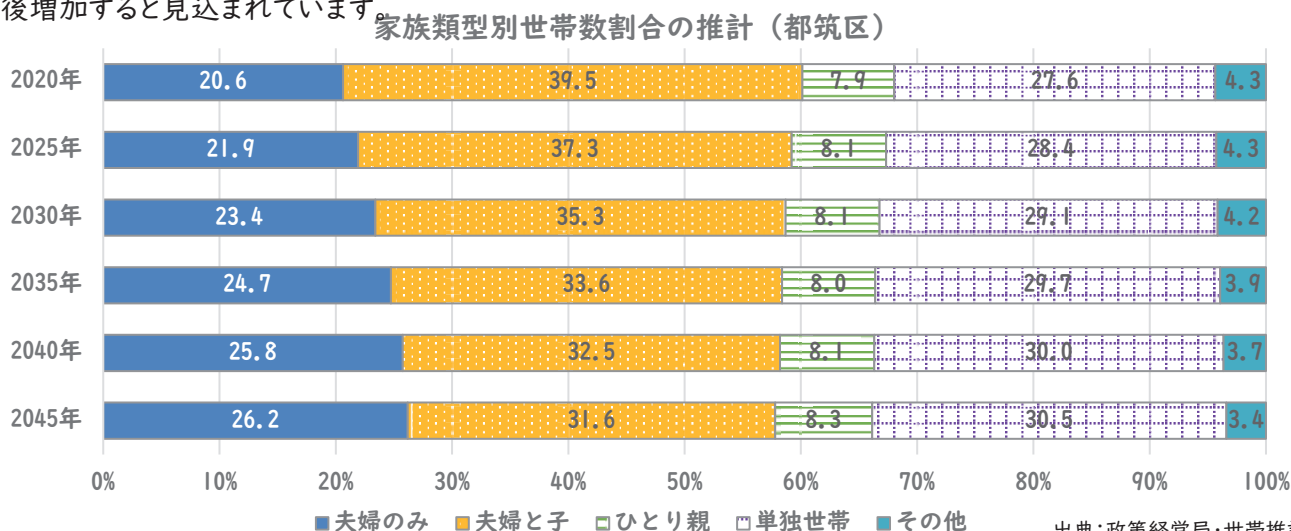
#### (1) 年齢3区分別人口構成比の将来推計（都筑区）

都筑区の人口は2024年にピークを迎え、それ以降減少する推計です。また、今後、高齢者人口が急激に増加すると見込まれています。



#### (2) 家族類型別世帯数の割合構成の将来推計（都筑区）

都筑区の世帯数は、2025年3月31日現在、約9万3千世帯です。推計では、「夫婦のみ」や「単独世帯」の割合が今後増加すると見込まれています。



(3) 年齢区分別転入者割合（都筑区・横浜市）

転入者の割合において、「0～14 歳」「30 歳以上」の割合が横浜市と比較して高い状況です。「75 歳以上」の転入者の割合も高く、いわゆる呼び寄せ高齢者や施設入所による転入も多いことが推測されます。

2024 年中の年齢区分別転入者割合

	0～5 歳	6～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
横浜市割合	4.7	3.3	3.4	39.6	23.4	9.8	9.1	2.6	4.1
都筑区割合	7.8	4.9	2.6	29.0	25.3	11.0	9.6	3.1	6.7

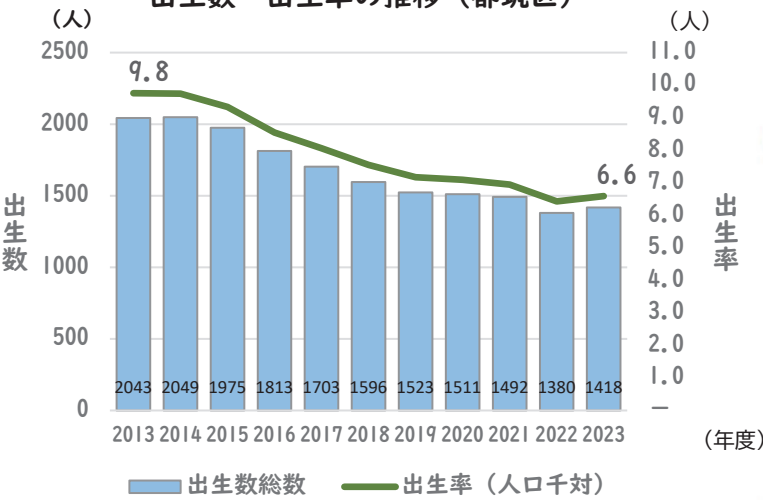
※横浜市割合よりも高い箇所を赤塗り、低い箇所を青塗りしています。

出典：統計情報ポータルサイト・横浜市の人口

(4) 子ども

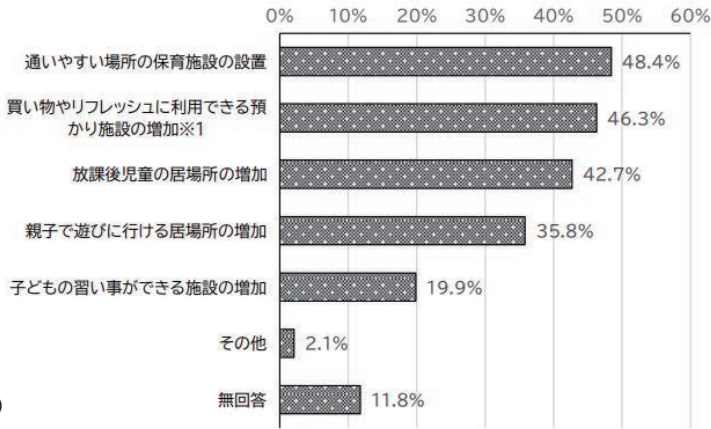
出生数、出生率（人口千対）は減少傾向で、出生率は横浜市内 18 区中3位です。子ども関連の居場所・施設は保育施設、預かり施設の充実の他、放課後児童の居場所へのニーズが高いことが伺えます。

出生数・出生率の推移（都筑区）



出典：統計情報ポータルサイト・横浜市統計書

子どもに関する居場所・施設について、  
あるとよい取組（n=1,817）



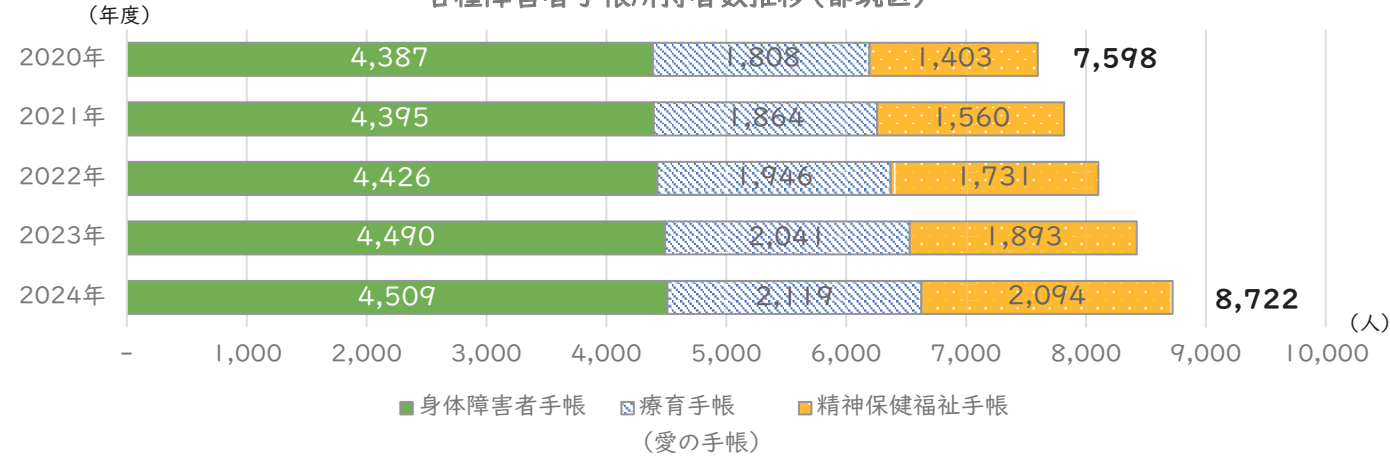
買い物やリフレッシュに利用できる預かり施設の増加※1（一時保育・一時預かりなど）

出典：2023 年度都筑区民意識調査

(5) 障害

各種障害者手帳の所持者数は 2020 年から 2024 年の約5年間で 1,124 人増加しています。

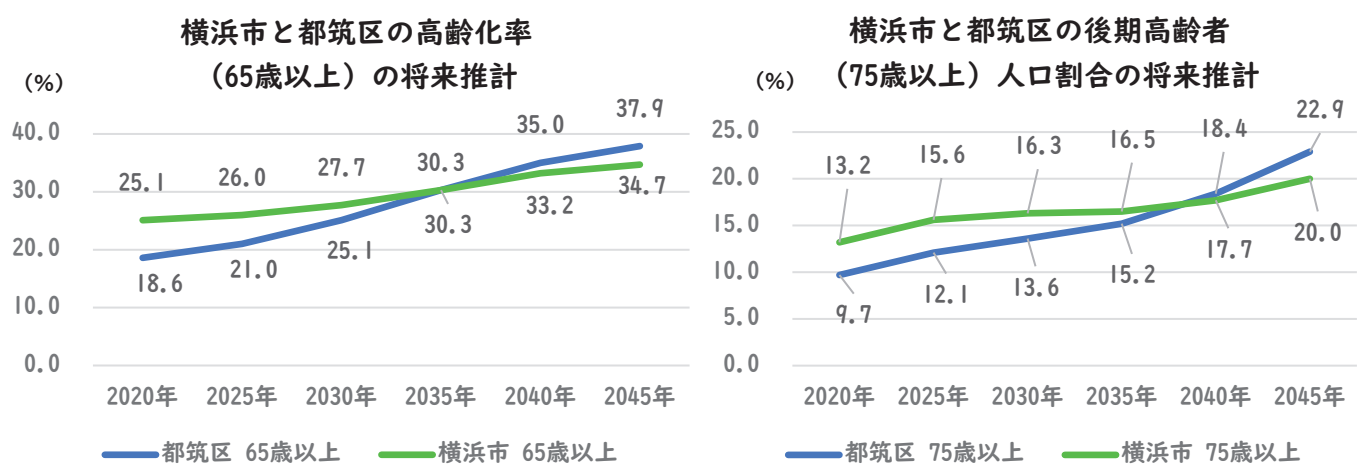
各種障害者手帳所持者数推移（都筑区）



出典：統計情報ポータルサイト・横浜市統計書

(6) 高齢者

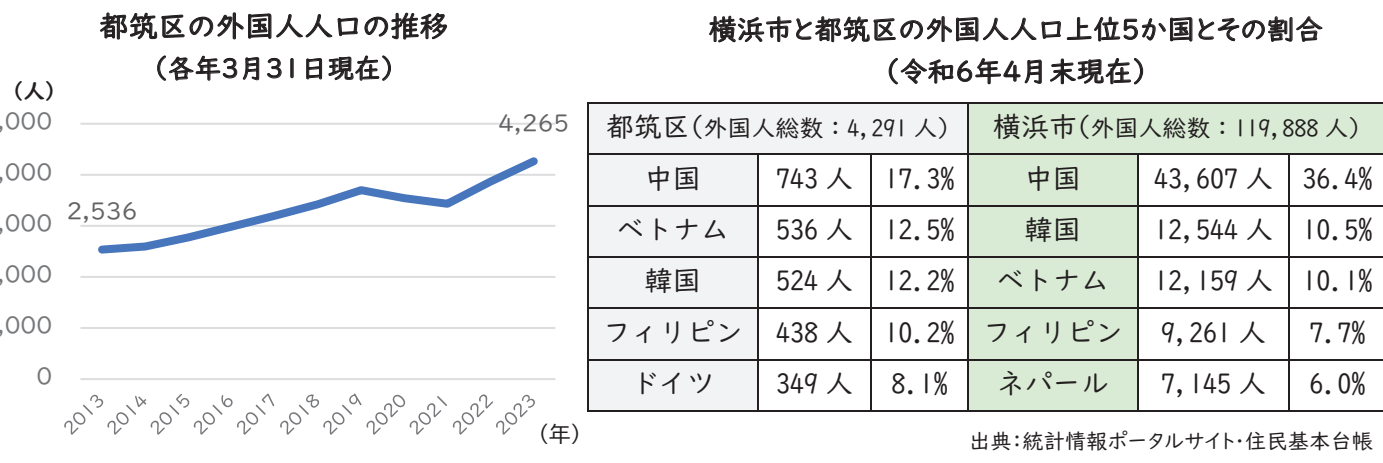
推計では、2035 年（令和 17 年）に横浜市平均と同程度となり、その後、上回る見込みです。また、後期高齢者も急激に増えていく推計です。



出典：政策経営局・人口推計

(7) 外国人

外国人人口は新型コロナウイルスの影響で一時的減少しておりましたが、現在は回復し増加傾向です。  
2025 年 4 月末時点で、都筑区には 80 カ国以上もの国の方々が暮らしています。

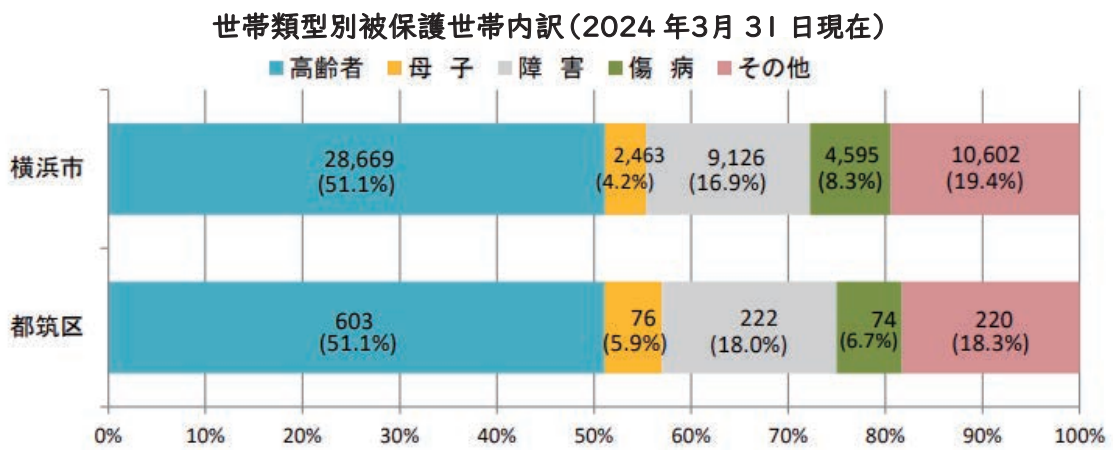


出典：統計情報ポータルサイト・住民基本台帳

出典：統計情報ポータルサイト・住民基本台帳

(8) 生活困窮・生活保護

人口 1,000 人あたりの被保護人員数・1,000 世帯あたりの被生活保護世帯数は市内 18 区中 18 位です。世帯類型別被保護世帯の内訳は横浜市と同様に、高齢者が多い値を示しています。



出典：統計でみるつづき

## (9) 健康づくり

平均自立期間(※)は男性が81.85年、女性が85.37年となっており、どちらも横浜市平均より長い結果になっています。

横浜市と都筑区の平均自立期間(2020年～2022年の平均値)と平均寿命(2022年)

	男		女	
	平均自立期間	平均寿命	平均自立期間	平均寿命
横浜市	80.00年	81.34年	83.89年	87.35年
都筑区	81.85年	82.85年	85.37年	88.33年

日常生活で介護が必要になる期間が分かるね。



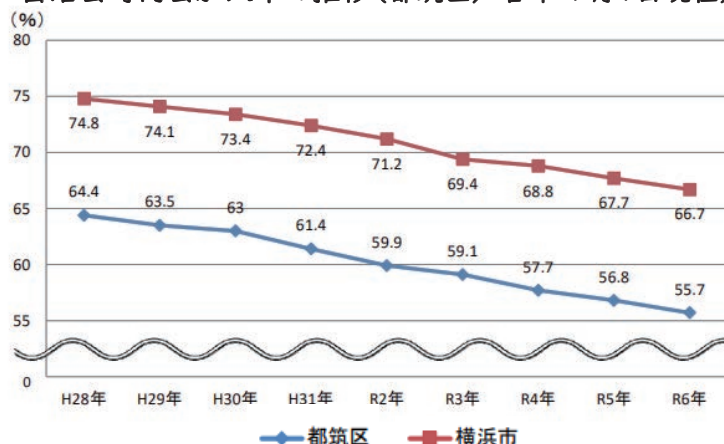
※平均自立期間:「日常生活に介護を要しない期間の平均」、このあと何年自立した生活ができるかを示したもので、健康寿命の考え方のひとつ。

出典: 健康福祉局健康推進課

## (10) 隣近所とのつきあい

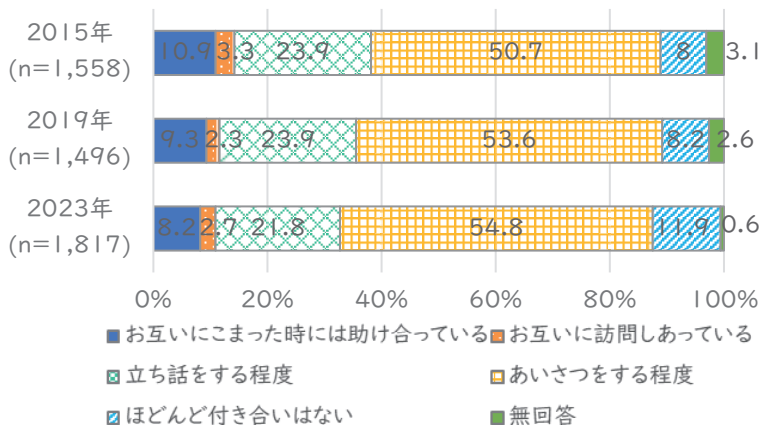
自治会・町内会の加入率は低下傾向で、日頃の近所づきあいの程度としては、「あいさつをする程度」が増加しています。

自治会町内会加入率の推移(都筑区/各年4月1日現在)



出典: 統計で見るつづき(市民局地域活動推進課)

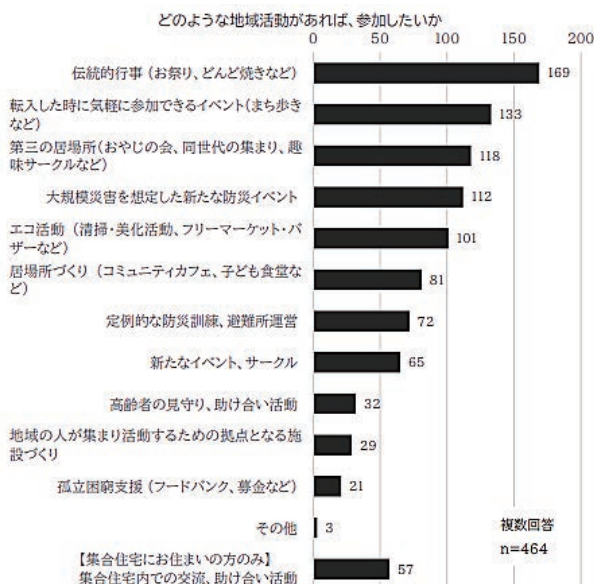
日頃、どの程度の近所づきあいをしているか



出典: 2023年度都筑区民意調査

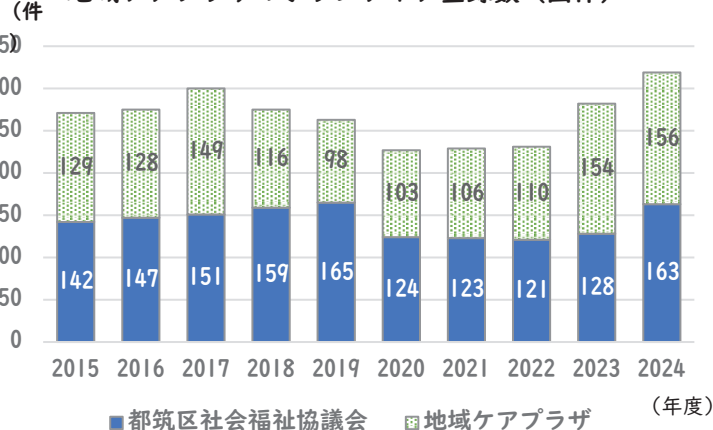
## (11) 地域活動

伝統的行事に加え、「気軽に参加できるイベント」へのニーズが高いです。また、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していたボランティア登録数は再び増加しています。



出典: 「地域活動や人とのつながりづくり」に関するアンケート調査

都筑区社会福祉協議会・  
地域ケアプラザのボランティア登録数(団体)



出典: 地域ケアプラザ四半期報告  
区社会福祉協議会実績報告



## 2 関係者・関係団体へのヒアリング

2024年9月から11月に、「日々の活動を通じて感じる課題」や「2030年に目指す都筑区の姿」についてヒアリングを行いました。

### 民生委員・児童委員

- ・誰もが当たり前の毎日を過ごせるようにしたい。
- ・孤立させない地域にしたい。
- ・身近な関係団体（高齢、障害関係等）と連携できる仕組みが必要。

### 主任児童委員

- ・表に出てこない方へのアプローチが難しい。
- ・子どもを真ん中において、地域みんなで子どもたちの課題を解決したい。
- ・子どもと高齢者が交流できる仕組みがあると良い。

### 青少年指導員

- ・高校生になると地域で顔が見えなくなる。  
地域と中学生・高校生を結ぶイベントがあったらよいと思う。
- ・青少年がお手伝いとしてではなく、「楽しく、前向きに」主体的にボランティアに参加できる機会が必要。

### 自立支援協議会

- ・障害のある当事者が安心して地域とつながれるよう、支援者が橋渡しできると良い。
- ・障害理解やメンタルヘルスに関して、子どもたちへの普及啓発も進めたい。
- ・見えないSOSをキャッチするために、地域の民生委員やケアプラザ等とつながり、情報共有できると良い。

### 地区社協分科会

- ・上手に世代交代をしていくにはどうしたらよいか。
- ・困りごとを話せる地域、困りごとを他人ごとにしらない地域にしていく。
- ・見守りが進んでいるまちになってほしい。

### 保健活動推進員

- ・単に健康づくりを進めるのではなく、人とのつながり（出会い、理解していく）を大切にしている。
- ・他団体とのコラボレーションにより、あらゆる年代の方に健康づくりの活動に参加してほしい。

### 老人クラブ

- ・どの地域にも老人クラブがあり、活性化されると良い。
- ・老人クラブの活動についてもっと知ってもらえると良い。
- ・70代前半の方に入会してほしい。

### 青少年

- ・自分でボランティア活動を選べるのが良かった。
- ・ボランティアでは、普段関わる機会のあまりない人と、関わる事ができるのが楽しい。
- ・横断歩道での見守り等やってみたいけど、どこに連絡したらいいかわからない。

### よこはま北部ユースプラザ

- ・就労でも進学でもない居場所が求められている。
- ・無償や有償のボランティア活動先を開拓できると良い。
- ・家庭内不和、虐待、国籍、労働問題、多重債務等、複雑に課題が絡んでいる方が多い。

### ボランティア分科会

- ・隣の人とのつながりが少ない。
- ・枠を限定せずに知り合える場があると良い。
- ・活動を発信していくことが大切。
- ・活動場所の確保。  
公共施設をもっと使いやすくしてほしい。

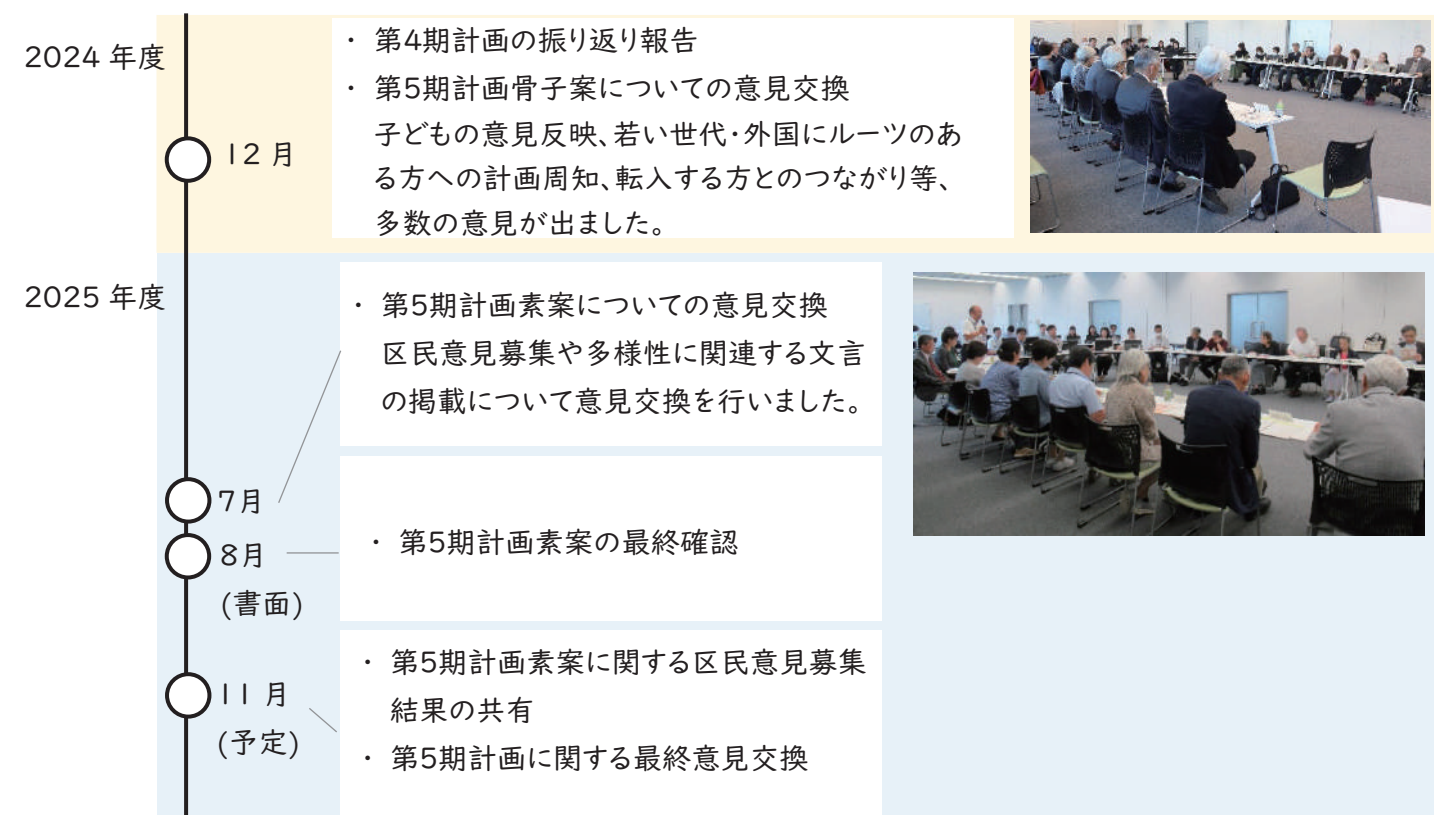
### 都筑区子育て支援センターPopola

- ・転出入が多く、核家族が多いため、頼れる人がいない。
- ・迷惑をかけたくないという思いを持っており、弱みが出せない人が多い。
- ・子どもを地域で育て、見守る意識が必要。



### 3 都筑区地域福祉保健計画推進委員会

#### (1)開催内容



#### (2)都筑区地域福祉保健計画推進委員

31ページをご覧ください。

### 4 都筑区内15地区での話し合い(地域懇談会等)で出た意見

「第4章 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」地区別計画」(17ページ)をご覧ください。

### 5 区民意見募集

2025 年(令和7年)10 月1日~31 日で実施。

#### 様々な立場の人の声を聴くこと

多様な視点を取り入れることが、誰もが暮らしやすい地域づくりにつながります。

第30回都筑区民まつりでは、未来に向け、住んでいるまちで「自分にできること」「自分にできそうなこと」をみんなで書き、大きなあいちゃんを完成させました。

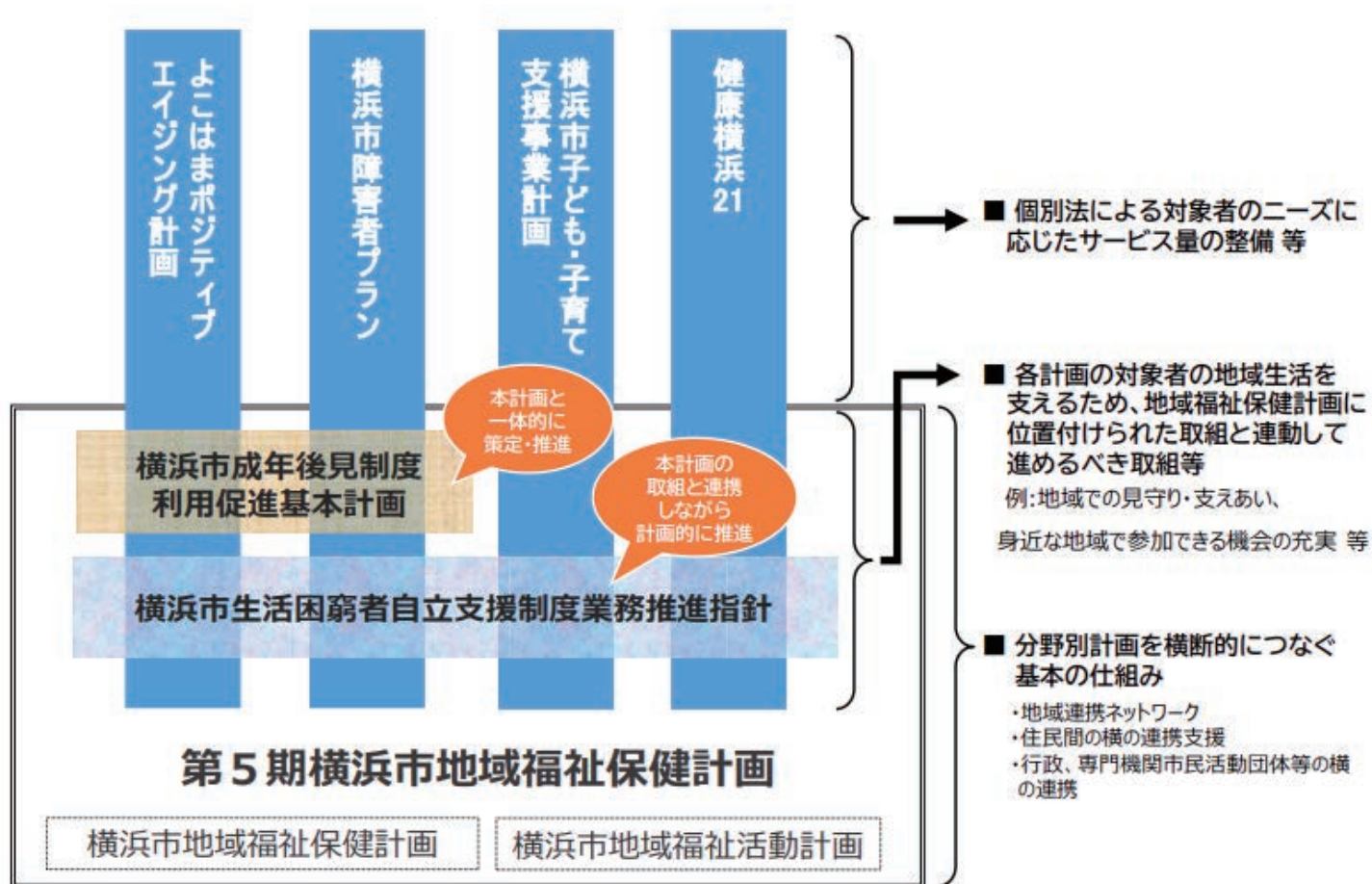


## 地域福祉保健計画の位置づけ

横浜市では、福祉保健の分野別の計画を策定しています。

地域福祉保健計画は、地域の視点から分野別計画に共通する理念や方針、地域における取組の方向性等を明示し、対象者全体の地域生活の充実を図ることを目指しています。

また、分野別計画で示している対象者の地域生活を支えるための事業や支援については、地域福祉保健計画と連動して取り組んでいきます。



社会福祉法第107条で「努力義務」となっている「地域福祉計画」の策定

地域で暮らす人々が生活上の課題を抱えながらも、互いにつながり、支えあうことで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに築っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められています。

地域共生社会の実現に向けて、2018年（平成30年）施行の改正社会福祉法により、「任意」であった地域福祉計画の策定が「努力義務」となりました。

# 都筑区地域福祉計画推進委員名簿(2024年度・2025年度)

※五十音順 敬称略

	委員名	所属
1	大野 和子	都筑区保健活動推進員会 会長
2	木村 博子	都筑区主任児童委員連絡会 代表
3	桑原 正盈	都筑区老人クラブ連合会 会長
4	小泉 雅二	都筑区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動等分科会 会長
5	小林 達夫	都筑区民生委員児童委員協議会 会長
6	小林 雅子	都筑区医師会 理事
7	坂田 信子	都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会 会長
8	佐藤 洋子	NPO 法人こども応援ネットワーク 理事長(都筑区子育て支援センター Popola 運営法人)
9	志田 政明	都筑区青少年指導員連絡協議会 会長
10	高橋 美都子	都筑区小学校長会地域福祉保健関係担当 横浜市立茅ヶ崎小学校 校長
11	名和田 是彦	法政大学法学部 教授(学識経験者)
12	林田 育美	都筑多文化・青少年交流プラザ(つづき MY プラザ) 館長
13	堀内 哲也	つづき地域活動ホームくさぶえ 所長
14	堀越 淳子	都筑区食生活等改善推進員会 会長
15	増田 友昭 (2024 年度)	都筑区中学校長会地域福祉保健関係担当 横浜市立中川中学校 校長
	小嶋 貴之 (2025 年度)	
16	宮川 智行 (2024 年度)	都筑区歯科医師会 会長
	河野 伸二郎 (2025 年度)	
17	村田 輝雄	都筑区社会福祉協議会 会長
18	吉野 富雄	都筑区連合町内会自治会 会長



第1期～第4期計画は  
こちらから確認できます



キリトリ線

第5期「つづき あい」素案について  
ご意見をお聞かせください

▼該当する項目に○をつけてください

- ・素案について(目指す姿 1・2・3・その他全体)
- ・地域の中でご自身が出来そうなこと、やってみたいこと
- ・地域の中で「こんな取組があったらいいな」というアイデア

▼ご意見やご感想をご記入ください

キリトリ線

ご協力ありがとうございました。



# 意見募集

第5期「つづき あい」の素案ができましたので、区民の皆さまのご意見を募集します。

いただいたご意見は、今後の計画策定の参考にさせていただきます。

いずれかの方法でお寄せください。

①電子申請フォーム 右記二次元コードから回答できます。

②電子メール tz-tifuku@city.yokohama.lg.jp

③郵便 本冊子に印字されている専用はがきをご利用ください。その他、封書でも可能です。

④FAX 045-948-2354



回答はこちらから

※電子メール・封書・FAX の場合の書式は問いませんが、年齢はご記入ください

意見募集期間 2025年(令和7年)10月1日(水)～10月31日(金)必着

(キリトリ線) ✂

ゆう びん  
郵便はがき

料金受取人払郵便  
都筑局承認  
381

差出有効期間  
令和7年  
11月30日まで  
(郵便切手不要)

224-8790

<受取人>  
横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1  
横浜市都筑区役所  
福祉保健課  
事業企画担当行

このはがきは  
使えません

なまえ  
名前はいりません。

い けん た ひと しょうほう  
意見を出す人の情報

○をつけてください。

ねんだい  
年代: a. 18歳未満 (18歳になっていない人)  
b. 18歳～29歳  
c. 30～39歳 d. 40～49歳  
e. 50～64歳 f. 65～74歳  
g. 75歳以上

(キリトリ線) ✂

## ◆提出にあたっての留意事項

- ・いただいたご意見は都筑区地域福祉保健計画推進委員会へ報告するとともに、ホームページで公表します。
- ・個別の回答はいたしませんのでご了承ください。
- ・ご意見の提出に伴い取得した個人情報 は適正に管理し、本意見募集以外の目的で利用することはありません。

## <問い合わせ先>

都筑区役所 福祉保健課事業企画担当  
電話:045-948-2344 FAX:045-948-2354  
メール:tz-tifuku@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会  
電話:045-943-4058 FAX:045-943-1863  
メール:info@tuzuki-shakyo.jp